

皆不解文意、

〔類聚名義抄〕六志之異反心コ、ロサシ

〔伊呂波字類抄〕古志コ、ロサシ 慎 操 惴 惴 詩已上同

〔書言字考節用集〕九言辭コ、ロサシ 大度同

〔倭訓栞〕前編九古コ、ロざし 志を訓せり、心指の義、心之所之也と注せり、

〔聖教要録〕下志氣思慮

志者、心之所之、意情有所定嚮之謂也、志必因氣、思慮者意情之審於内也、思慮不致、乃乖戾、思曰睿、慮得之謂也、

〔訓幼字義〕七志 凡三則

志といふは、こ、ろの存主する所にして、氣をひきゆるものなり、孟子に志氣之帥也といへり、帥といふは將帥の義にて、大將の事なり、志は氣を引まはすものなれば、大將の士卒を引まはすがごとし、ゆへに氣の帥なりといへり、こ、ろのあるじとなりて、氣を引たつるものなり、

〔辨名〕下心志意九則

志者、心之所之、此說文之訓也、是以字偏傍爲說、字學家之言耳、仁齋先生曰、心之所存主也、得之、醫書腎藏精與志、亦可見已、

〔日本書紀〕神代天照大神素知其神暴惡、至聞來詣之狀、乃勃然而驚曰、中謂當有奪國之志歟、

〔日本書紀〕四綏靖神淳名川耳天皇、綏神日本磐余彥天皇第三子也、中天皇風姿岐嶷、中武藝過人、而志尙沈毅、

〔伊呂波字類抄〕古人コ、ロサシ 操コ、ロハセ

〔書言字考節用集〕九言辭コ、ロサシ 心緒同 意氣同 景迹同 志操同

〔書言字考節用集〕九言辭コ、ロサシ 心緒同 意氣同 景迹同 志操同